

- ・平成21（2009）年11月10日（火）
- ・行程 作田家、石堂寺・旧尾形家住宅
- ・参加 104名

- ・研修の概要

生田緑地前から出発したバスは、アクアラインを通過して房総半島を横切り、まずは九十九里町の作田家所在地を見学しました。現地では、現在のご当主から、歴史や環境など作田にまつわる貴重なお話しをお伺いしました。また海岸では九十九里高校教諭の斉藤さんから当時の浜と網元や漁師の住まいの位置関係などもお伺いしました。



現作田家前（屋号“<sup>もとなや</sup>本納屋”の看板）



ご当主作田倉治さんから説明を受ける

国民宿舎「サンライズ九十九里」で名物イワシの“なめろう”等の昼食をとりました。



昼食後、外房海岸沿いに南下し、南房総市に移動、石堂寺、旧尾形家住宅（房

総式分棟型住宅で国指定の重要文化財。柱に享保13年の墨書がある）を見学しました。



石堂寺には国指定重要文化財 多宝塔、本堂、薬師堂、木造十一面観音立像がある。国指定重要文化財の旧尾形家も石堂寺の境内に移築されている。



旧作田家と同じ「分棟型」旧尾形家住宅

夕暮れぎりぎりまで石堂寺と旧尾形家住宅を見学したあと、東京湾沿いに北上し、行きと同様“海ほたる”を經由して戻りました。

(編集委員 11期 水曜 羽石)